Change & Challenge

～英語が「好き」な子供たちの育成に向けて～

小学校英語教育通信第２号
令和３年４月３０日（木）
義務教育課英語教育推進室

英語が「好き」な子供たちの育成に向けて　～「くまもと英語教育推進プラン」～

熊本県教育委員会では、昨年度「くまもと英語教育推進プラン」を策定し、本県の英語教育における児童生徒の目指す姿を次のように設定し、その達成に向けた取組を進めています。

めざす姿　～１０年間（小３から高３まで）を見据えた児童生徒像～

〇自分の住んでいる地域や郷土熊本に誇りをもち、多様な文化をもつ人々と、英語で考えや気持ちを伝え合う児童生徒
〇英語学習に興味をもち、異文化交流体験や外部検定試験等に積極的にチャレンジし、主体的に学び続ける児童生徒

また、小学校段階では、小学６年生時点での「英語が『好き』『分かる』」児童の割合を指標とし、年度ごとの具体的な目標値を掲げました。そして、令和元年度は67.9%だった割合を、令和５年度までに75.0%まで引き上げることを目標としています。本年度（令和３年度）の目標は**71.0%**です。

	R１年度	R２年度	R3年度	R４年度	R５年度
小６「英語が『好き』『分かる』」	67.9%	69.0%	71.0%	73.0%	75.0%

さて、昨年度（令和２年度）の結果はどうだったでしょうか？結果は、69.0%の目標値に対し、**63.6%**でした。前年度を4.3ポイント下回る結果です。このことは、英語学習の初期にあたる小学校段階で約４割の児童が英語に対してマイナスのイメージをもってしまっていることになります。子供たちの英語学習は中学校以降も続くことを考えると、小学校段階では、「英語が好き」な子供たちを育てることがとても大切になってきます。

新学期が始まり１ヶ月。英語が好きな子も苦手な子も新たな学年での英語学習に期待を持って進級しています。先生方にはぜひ、「英語でコミュニケーションするって楽しいな」と子供たちが実感できるような授業で、子供たちの英語学習への意欲を高めていただきたいと思います。まずは、先生方自身が子供たち一人一人の話に耳を傾け、“Really？”（ほんと？）“Great！”（すごいね！）と子供たちとの対話を楽しんで授業を進めていきましょう。そのことが、きっと、「英語が好き」と実感する子供たちをはぐくむ第一歩になると信じています。

☆☆

言語活動について考える～自己紹介～

多くの教科書では、第１課で自分の名前や好きなものなどを紹介し合う内容が取り上げられていますが、本単元のゴールを達成するための言語活動について、先生方はどのような活動を設定されます（した）か？

言語活動では、よく、「『相手意識』や『目的意識』を持たせることが大切」と言われます。

例えば、「自己紹介」の活動では、

□相手意識…「新しい担任の先生に」
　　　　　　「初めて来日したALTに」
　　　　　　「学級内の友達に」　等
□目的意識…「自分のことをよく知ってもらうために」
（必然性）　「自分の名前を覚えてもらうために」
　　　　　　「お互いの好きなものを知って、仲良くなるために」　等、

様々な設定が考えられます。そして、このようにコミュニケーションの「相手」や「目的」が変わると、発話の「内容」や取り扱う「言語材料」も変わってくることが分かります。

先生方には、この単元でどんな力を付けたいか（単元のゴール）を明確にするとともに、「相手意識」や「目的意識」の視点をもって、子供たちがわくわくして取り組みそうな活動を設定していただきたいと思います。そのことが、新学習指導要領が求める「見方・考え方」を働かせる言語活動につながります。

小学校英語教育に関する主な事業

本年度、県教育委員会では小学校英語教育の推進に向けて、以下のような取組を行います。

小学校英語授業づくりプロジェクト

小学校英語専科教員等を対象に、各地域でグループ集合研修を実施。小学校英語専科教員等のネットワーク構築及び指導力向上を図ります。

小学校英語授業映像資料作成

本県の英語教育推進リーダーによる授業動画コンテンツをオンラインで配信。英語授業を担当するすべての先生方に研修の機会を提供します。

英語担当者指導法研修会

小学校で英語授業を担当する教員を対象にした研修を各地域で実施。特に、学級担任で英語の授業を実践している先生方の指導力向上を図ります。また、中学校教員も参加（予定）することで、小中の連携を図ります。